PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference B030217ACS13	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below				
International application No. PCT/JP2004/007795	International filing date (day/month/year) 28 May 2004 (28.05.2004)	Priority date (day/month/year) 12 June 2003 (12.06.2003)]				
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC 7 C08L 51/00						
Applicant KANEKA CORPORATION						

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).					
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.					
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.					
3.	This report contains indications relating to the following items:					
	Box No. I Basis of the report					
	Box No. II Priority					
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability				
	Box No. IV	Lack of unity of invention				
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement				
	Box No. VI	Certain documents cited				
	Box No. VII	Certain defects in the international application				
	Box No. VIII	Certain observations on the international application				
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).					
			Date of issuance of this report 13 December 2005 (13.12.2005)			
The International Bureau of WIPO			Authorized officer			
34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland			Masashi Honda			
Facsimile No. +41 22 740 14 35			Telephone No. +41 22 338 70 10			

Form PCT/IB/373 (January 2004)

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

出願人代理人	REC'D 12 AUG 2004			
あて名	WIPO PCT			
〒 530-8288 大阪府大阪市北区中之島 3 丁目 2 - 4	P C T 国際調査機関の見解 書 (法施行規則第40条の2) 【P C T規則43の2.1)			
	^{発送日} (日.月.年) 10.8.2004			
出願人又は代理人 の書類記号 B030217ACS13	今後の手続きについては、下記2を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/007795 (日.月.年) 28.	優先日 05.2004 (日.月.年) 12.06,2003			
国際特許分類(IPC)				
Int. Cl' C08L5	1/00			
出願人(氏名又は名称)				
愛淵化学 工	業株式会社			
1. この見解書は次の内容を含む。 ② 第 I 欄 見解の基礎 ③ 第 I 欄 優先権 ③ 第 I 欄 優先権 ③ 第 I 欄 優先権 ③ 第 I 欄 務規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 ③ 第 I 欄 発明の単一性の欠如 ② 第 V 欄 P C T 規則43の2. 1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 ③ 第 VI欄 ある種の引用文献 ③ 第 YI欄 国際出願の不備 ⑤ 第 YI 欄 国際出願の不備				
2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。				
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。				
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。				
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。				
見解告を作成した日 22.07.2004				
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区版が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 中島			

様式PCT/ISA/237 (装紙) (2004年1月)

第1 欄 見解の基礎					
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。					
この見解告は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の曾語である。					
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌク I 許を作成した。	レオチド又はアミノ酸配列に関して、			
a. タイプ	配列表;	· ·			
	配列表に関連するテープル				
b. フォーマット	事 面	•			
	□ コンピュータ読み取り可能な形式	*			
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる				
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り	可能な形式により提出された			
	出願後に、調査のために、この国際調査機	関に提出された			
3. さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が あった。					
4 48 D 24 FI .	•	·			
4. 補足意見:	•	•			
	•	•			
	,				
	,				
		'			
		•			

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明				
1. 見解				
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-5		
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1 – 5		
産業上の利用可能性(Ⅰ.	A) 請求の範囲 請求の範囲	1 – 5		

2. 文献及び説明

請求の範囲1-5は、新規性、進歩性、産業上の利用可能性を有する。 国際調査報告で示した下記先行文献には、ゴム変性スチレン系樹脂99.9~9 7重量%に特定のポリオルガノシロキサン含有グラフト共重合体0.1~3重量% を組み合わせることは記載されていない。

(先行文献)

- JP 2000-264935 A (鐘淵化学工業株式会社) 2000.09.26
- JP 2001-278927 A (鐘淵化学工業株式会社) 2001.10.10
- JP 2002-20574 A (鐘淵化学工業株式会社) 2002.01.23
- JP 2001-106863 A (鐘淵化学工業株式会社) 2001.04.17
- JP 2000-119477 A (テクノポリマー株式会社) 2000.04.25